令和元年度　第７２回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会
兼　第６９回全国高等学校ソフトテニス選手権大会北海道予選会

開 催 要 項

主　　催　　北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道ソフトテニス連盟

後　　援　　帯広市・帯広市教育委員会・帯広市体育連盟・一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団

主　　管　　北海道高等学校体育連盟ソフトテニス専門部
北海道高等学校体育連盟十勝支部
帯広ソフトテニス連盟

当　番　校　　北海道帯広工業高等学校

令和元年度　第７２回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会
兼　第６９回全国高等学校ソフトテニス選手権大会北海道予選会　　開催要項

主　　催　　北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道ソフトテニス連盟
後　　援　　帯広市・帯広市教育委員会・帯広市体育連盟
主　　管　　北海道高等学校体育連盟ソフトテニス専門部・北海道高等学校体育連盟十勝支部・帯広ソフトテニス連盟
当 番 校　　北海道帯広工業高等学校
〒０８０－０８７２　帯広市清流西２丁目８番地１
℡（０１５５）４８－５６５０　FAX（０１５５）４８－２６８０

１　期　　日　　令和元年６月　４日（火）・５日（水）・６日（木）・７日（金）
６月　４日（火）　８時３０分～　公式練習（14：00～15：30 は中断）
６月　４日（火）１４時００分～　受付
１４時３０分　監督・主将連絡会
１５時００分　開会式
６月　５日（水）　８時２０分～８時４５分受付終了・９時００分競技開始　個人戦
６月　６日（木）　８時２０分～８時４５分受付終了・９時００分競技開始　個人戦・団体戦
６月　７日（金）　８時２０分～８時４５分受付終了・９時００分競技開始　団体戦
競技終了後　閉会式
６月　８日（土）「予備日」（雨天順延の場合　20 面）
２　会　　場　　帯広市スポーツセンター（開会式）
〒080-0856 帯広市南町南 7 線 56 番地 7　℡(0155)48-2401
帯広の森市民プール（受付、監督・主将連絡会）
〒080-0856 帯広市南町南 7 線 56 番地 7　℡(0155)47-3630
帯広の森テニスコート・砂入人工芝生 20 面（競技・閉会式）
〒080-0856 帯広市南町南 7 線 56 番地 7　℡(0155)47-8851
３　競 技 規 則　　日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによる。
４　参 加 資 格
（1）北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加の資格を得た者。
（全道高校体育大会基準による。）
（2）北海道ソフトテニス連盟登録チーム・選手であること。
（3）高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意思のある者。
（4）平成 13 年４月２日以降に生まれた者。ただし、出場は同一競技３回までとし，同一学年での出場は１回限りとする。
（5）転校後６ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる。）ただし，一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。なお、６ヶ月未満の起算は全道大会開催期日とする。
（6）参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長が支障ないと判断した者とする。
（7）外国人留学生の参加については、団体戦はエントリー数（６名～８名）のうち２名までとする。
（8）審判ができる者。
（9）参加資格の特例
ア　上記（1）に定める生徒以外で、（2）～（8）の大会参加資格を満たした生徒を、別途定める規程に従い大会参加を認める。
イ　（4）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技３回限りとする。なお、高等専門学校については、第３学年までの１９歳未満の者に限る。
ウ　統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
［大会参加資格の別途規程］
１　北海道高等学校体育連盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。
２　以下の条件を具備すること。
（1）大会参加資格を認める条件
ア　北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ　参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
ウ　各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められる。
エ　各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず、運営が適切であること。
（2）大会参加に際し守るべき条件
ア　全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項

及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
イ　大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
ウ　大会参加料は、エントリー選手１名１，５００円とする。

5　引率責任者及び監督・ベンチ入り指導者
（1）引率責任者は当該校の教員で、監督・ベンチ入り指導者は学校長の認めた教職員とする。
ただし､監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。
監督は男女各１名、ベンチ入り指導者は２名までとするが、出場ペアが１ペアの場合は１名とする。
ただし、引率責任者と監督・ベンチ入り指導者が同一者の場合は教員とする。
（2）「監督」とは団体戦でベンチ入りする指導者のことを意味し、「ベンチ入り指導者」とは個人戦でベンチ入りする指導者を意味する。ただし、団体戦の監督は男女兼務することはできない。
（3）校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第７８条のに示された者）も可とする。

6　チームの編成
（1）監督１名及び同一学校に在学する６名～８名の選手及びマネージャー１名をもってチームを編成する。
（マネージャーはいなくてもよい。）
（2）課程（全日制課程・定時制課程・通信制課程）ごとの生徒によるチームであること。

7　組み合わせ
（1）団体戦　：　同一支部の対戦を配慮して、専門委員における抽選で決定する。
ただし、第４４回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会北海道予選会の上位４校の支部をシードする。
（2）個人戦　：　専門委員によるドロー会議で決定する。

8　競技方法
（1）団体戦　：　ア　３ペア対抗の点取法によるトーナメント方式とする。
イ　出場選手（登録選手６名～８名から３ペア）及びオーダーは試合毎に変更できる。
ウ　初回戦の試合は３対戦とも行い、以降は２点先取とする。
個人戦　：　トーナメント方式とする。
（2）天候等の都合で試合方法を変更することがある。
（3）試合球は、男子アカエム、女子ケンコーとする。

9　選手等の服装
（1）選手は背部に日本ソフトテニス連盟指定のゼッケンを着用すること。４角をきちんととめること。
（2）試合中の選手は、日本ソフトテニス連盟公認のユニフォーム及びテニスシューズを着用すること。
（3）競技場では、監督・ベンチ入り指導者もテニスの服装で、指導者証を付けること。
（4）体育館（室内）用シューズを必ず用意すること。（開会式用）

10　ベンチ入りの人数
（1）団体戦　：　監督、選手（６名～８名）とする。（監督は必ずベンチ入りすること）
（2）個人戦　：　ベンチ入り指導者、選手（２名）とする。

11　参加申込
（1）出場校は大会参加申込書「１部正」に職印を「１部副」は正のコピーの計「２部」を各支部の専門委員に提出する。
（2）各支部の専門委員は、支部内の参加校を取りまとめ、全道大会参加報告書及び成績記入のプログラム「２部」を添えて、５月２７日（月）必着で、当番校に送付する。参加料は、別途指示する口座に振込むこと。

12　宿泊
宿泊については、別紙（旅行業者作成）のように斡旋するので、必要な場合は、それに従う。

13　全国大会出場資格
団体：　男女各１校、　個人　：　男女各８ペアまで出場できる。

14　全国大会開催地　　宮崎県宮崎市生目の杜運動公園はんぴドーム/テニスコート
男子　令和元年　７月２５日（木）～２８日（日）
女子　令和元年　７月２９日（月）～８月１日（木）

15　全道大会事務局
北海道帯広工業高等学校　大会事務局　　佐藤　淳爾
〒０８０－０８７２　帯広市清流西２丁目８番地１　帯広工業高等学校内
℡（０１５５）４８－５６５０　FAX（０１５５）４８－２６８０
090-8275-1431（直通）　mail　jun_sato@hokkaido-c.ed.jp
本校ＨＰ　http://www.obikou.hokkaido-c.ed.jp/